

会長 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227
事務局 〒577-0054 東大阪市高井田元町1-14-2 岡本 至弘 06-6788-2796
編集室 〒586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348
HomePage担当 〒577-0054 大阪市住之江区南港中3-3-31-520 坪井 仁志 06-6613-2836

令和5年5月(2023年) No.689

OMC 懐かしの映像祭

7月27日(木)に会場確保

コロナ禍で中止してきた「懐かしの映像鑑賞会」ですが、今年は開催したいとの思いで、実施することにしました。経費を削減する為もあって、今回は岡本副会長のお世話で、近鉄布施駅前の市民プラザ多目的ホールを予約しました。日曜日を希望したのですが、抽選で運悪く確保できず、空いていた7月27日の木曜日午後となりました。しかし来場者のほとんどが高齢者が多いので木曜日でも構わないと思います。

さあー、開催日が決まった所で逆算してスケジュールを組まなければなりません。会員の皆様のご協力をお願い致します。

記

- 制作年度 ; 10年以上前の作品から相応しいと思う自信作を出品してください。
- 作品提出 : 5月例会日(5月27日)に持参してください。
- 作品 : コメント36文字以下に(BD又はDVD)に添付の事
- 長さ : 特に定めませんが常識の範囲で
- 出品料 : 1作品5,000円とします。

注) 作品が少なくてプログラム構成に難がある場合は、一人2本の出品も考えます。

そのため、多数作品をお持ちの方は複数本を候補に上げて提出してください。

- 通常例会は、13時30分より、とします。今まで第4土曜日18時より開催してきましたが、会員の高齢化により午後の開催に4月より変更しました。

13時としますと昼食の時間も慌ただしくなりますので、準備は13時から、開会は13時30分とします。(会長)

5月例会のご案内

- 5月例会は第4土曜日27日13時30分より、難波市民学習センターにて。
月一回の例会、作品持ちより楽しいひと時を送りましょう。

恒例の一泊撮影会

好天に恵まれ無事終了

令和5年、OMC春の撮影会は、4月8日（土）、9日（日）の二日間にわたり、和歌山県かつらぎ町の山麓にある、世界遺産「丹生都比売神社」の花盛祭をメインに行われました。2020年に企画をしましたが、コロナウイルス感染防止対策のために中止となり、撮影会も取りやめました。今年は、3年ぶりに開催されるとのことで、その企画をそのまま、中川、江村、両会員の世話役で実施することになったものです。

前日の7日は、大荒れの天候で開催が危ぶまれたが流石、日頃の行いが良かったのか夜半から天候は回復、山間部の気温はやや低めだったが、二日目は汗ばむくらいの好天に恵まれ参加の会員にとっては、最高の二日間の撮影会になりました。この祭りは、春の訪れを祝うため、冬が終わり、花が咲き、暖かな春を喜び万物の成長を願うというお祭りです。桜の花もまだ残っていて、初日は、周辺の撮影、二日目は、午前の神事のあと、午後からは、神宮装束に身を包んだ渡御の行列を撮影することができました。あとは皆さん、それぞれどうまとめるか腕の見せどころです。コンテストは、7月第2例会日です。ちなみに参加者は、江村、岡本、高瀬、鉄具、中川、西村カ、宮崎、山本の8氏でした。



通常例会レポート

先月まで通常例会は夜でしたが、今月からは昼間の例会となりました。夜なら来られないという会員さんも出席して頂きました。今日は15名の出席でしたがさらに増える事を期待したいところです。

■ **運営担当**：司会 岡本、書記 合原、YouTube 関係 江村、映写 坪井 メモリー記録 江村、受付・照明 森下、宮崎の各氏

■ **出席者**：岩井、江村、大久保、岡本、上総、合原、高瀬、高田、坪井、鉄具、中川、中村、宮崎、森下、山本の15氏

■ **作品上映**(今月の書記は合原会長)

1, 桜咲くころ BD
岡本至弘 9分15秒



(作者コメント)

今年は、桜が例年より開花が早く、3月30日に取材した作品です。JR阪和線山中溪駅周辺と和歌山電鉄貴志川線貴志駅周辺の桜を取材してきました。好天に恵まれ満開の桜を取ることが出来ました。まだまだ手直しの処がありますがとりあえず見て下さい。

(会長コメント)

こういう桜ばかりのノンナレの作品の講評は難しい。あちこちの満開の桜を丹念に拾って展開し、和風の音楽だけで構成されているので、「映像詩」的な狙いでまとめられたかも知れない。それにしても物足りない。誌的な美しいクライマックスが無いからかもしれない。題名を変えて花吹雪で乱れ飛ぶ花びらで終わる、という手もあるかも知れない。また桜にちなんだ思い出をナレーションで語る、というのも一つの手だろう。

2, 御詠歌と「ハワイ・アロハ」 BD
中川良三 16分41秒



(作者コメント)

曹洞宗大本山は福井県の永平寺（道元禪師）と神奈川県の大持寺（瑩山紹

瑾禪師)と二つのお寺があります。昨年10月に3年ぶりに、曹洞宗大本山永平寺に行くことが出来ました。今回はバスツアーで河内長野の興禅寺から永平寺へ向かいました。

バス中での歌の練習と、帰りのバスで、ある僧侶が経験した珍しい体験談を編集してみました。

(会長コメント)

バスで永平寺に行かれた時の記録だが何か不思議と惹かれるものがあった。特に永平寺に着いた後の延々と廊下を上がっていくシーンに法要のBGMが重なる処は、永平寺のスケールの大きさと荘厳さを感じて良かった。

タイトルにもあるが、帰りのバス中で「ハワイ・アロハ」の部分は記録としては良いだろうが、省きたいところだ。

3, かつての港湾都市は今！ BD

鉄具嘉夫 9分25秒



(作者コメント)

かつて盛んであった港町は今どうなっているのだろうか。私が住んでいた門司港について考えてみた。そのテーマとは別に私の少年時代の事が思い出されて懐かしかった。

(会長コメント)

子供のころ住んでいた港町門司。いまどうなっているか訪ねてきたという趣旨の作品なら、神戸の処はむしろ省きたい。私も10年ほど前に行ったことがあったので、懐かしく拝見させて頂いた。

4, 小さな観覧車 BD

高瀬辰雄 9分30秒



(作者コメント)

京都市の動物園に小さな観覧車があります。昭和31年の竣工、日本で2番目に古く市の有形文化財に指定されることになりました。そんな話題を新聞でみつけ、撮影に行きました。唯、回っているだけの観覧車をどういう風に表現するかに苦心しました。幸い動物園は70歳以上入場無料なので3回通いました。

(会長コメント)

小さな観覧車がテーマだが、思い出などを語って盛り上がり部分を感動的に持ってきた点は評価でき、良い作品に仕上がっている。唯、ラストの部分の桜は多過ぎ。観覧車で物語を終えるか、観覧車の前景に桜を据えた1カットで終わるとしたら良かったと思う。

5, 暗がり越え BD

江村一郎 9分59秒



(作者コメント)

生駒山地の暗峠を越えて奈良に至る街道は高麗橋を起点として最短ルートで結んだ道であり、現在も国道308号線として暗がり越えの急勾配として有名。本来であれば暗がり越えで奈良まで行くところですが、松尾芭蕉の話を入れ暗峠から大阪に戻る構成にしました。

(会長コメント)

何回も撮影に行かれた努力の跡がうかがえる。この作品、松尾芭蕉に絞った構成にしてみたらどうだろう。芭蕉もこの急な坂道のある暗がり峠を越え、遂に大阪のこの地で生涯を終えたんだなあ、といった感慨を込めた7分以下の作品にしたら如何でしょう。

6, 雪の上高地 BD

高田幸夫 8分20秒



(作者コメント)

冬の上高地は初めてです。好天に恵まれて冬景色をたっぷりとってきまし

た。スノーシューをはいての撮影に苦労しました。

(会長コメント)

この作品どういうわけか例会でパソコンに収録できなかったので、中川氏が改めてBDを作り直され、それを拝見しているところ。サブタイトルとして「スノーシュー・ハイキング」とあるように、スノーシューを履いて雪の上高地を旅してこられた記録。聞けば奥さん同行だった由だが、映像からはどの方が奥さんなのか紹介は無し。雄大な冬の大自然の中を旅するなど元気あるうちしかできない生涯の宝となる映像。こういう作品には、あの時二人で行って楽しかったと思わせるような一人称作品の方が一般が見ても共感を得られると思う。観光映画ではもったいない。

7, 原風景を守る秘湯の宿 BD

中村幸子 8分 53 秒

(作者コメント)

秋田杉に囲まれた江戸時代からの秘湯の宿。テレビも冷蔵庫も電話も無く昔ながらの宿。かたくなに不便さを守る宿の当主のこだわりと努力をメインにしたストーリーになっている。



(会長コメント)

「原風景」をテーマにした作品を纏めるのは正直言って難しい。よくこのテーマに取り組まれたものと思う。そもそも原風景とは何ぞや、という事が頭に整理しておく必要がある。昔からやってきた事を今もそのまま受け継いで進歩が無い状態なのか、電気もガスも無い頃の生活を今も続けていることか、まわりの風景が開発されずに残っていて、建物も文化財の様に古いものをそのまま使っている状態なのか、原点に戻って見つめ直してみたらどうだろう。

苦労して作られた作品を観て、感動が湧いてこないのは、少し「原風景」という言葉に振り回されているように思える。古くから使っている備品や道具類のアップカットも欲しいし、維持管理しておられる施設の方々への「ご苦労様」と「感謝」の気持ちなどが作品に反映されれば共感を得られる作品になろう。

8, 焼き板づくり BD

上総秀隆 5分 37 秒

(作者コメント)

堺市中区の兒山家住宅（登録有形文化財）で外壁に貼る焼き板を作る作業を素人が集まって専門家の指導を受けた。



(会長コメント)

作品提出票に、修一郎とあったので、撮影は故父上で編集を作者がしたという事だろうか。いずれにしても昔ながらの手作りの焼き板づくりに郷愁を感じた。

9, 私の土佐日記；第1部 12分 15 秒 10, 第2部 14分 50 秒

合原一夫 DVD

(作者コメント)

いずれも8ミリフィルム作品。32年前の作品だが、今見ても懐かしい思い出作品。



11, 暗峠奈良街道 BD

山本正夢 12分 40 秒

(作者コメント)

二日半かけて春の街道を歩きました。国道308号線は酷道といわれるほど狭くて急坂でした。



(会長コメント)

大阪から暗峠、奈良、京都と大変な労力で撮り歩いた成果にまず脱帽。